



令和6年4月

148号

# こんにちは!! やまがたむら 議会 です

特集

令和6年度予算審議  
(開村150周年予算)  
議会改革への第1歩

発行：長野県山形村議会（代表）大月民夫

編集：議会広報編集特別委員会

山形村ホームページ <https://www.vill.yamagata.nagano.jp/>

TEL.0263-98-3111



令和6年 第1回 定例会

新年度予算の審議！

# 令和6年度一般会計当初予算

予算額は過去最大規模!!

40億8千330万円（前年度比 プラス8.6%）

## 令和6年度 主な事業

開村150周年の年に向けて

『村づくり基本条例』を

生きたい・住み続けたい・活かす  
生きたい・住み続けたい・活かす  
生きたい・住み続けたい・活かす

3千66万円

開村150周年記念事業

イベント開催・動画制作委託・記念式典費用など

1億584万2千円

自治体情報システム標準化・共通化業務委託

自治体が個別に管理してきたシステムを共通基盤  
で運用する

8千781万円

歩道設置工事

中学校通学道路(村道1級4号線)

1千159万6千円

床改修工事

老朽化した「ふれあい児童館」

480万6千円

議会改革への第一歩

議会タブレット端末購入



**主役はあなたです!!**

議会モニター募集中

皆様の貴重な声を議会に届けてください。山形村議会は、いつでもあなたの応募をお待ちしています。

# 令和6年 第1回山形村議会定例会

令和6年 第1回山形村議会定例会が3月4日開会し、3月14日まで11日間開催された。陳情1件、同意・諮問各1件、道路線の認定1件、条例の一部改正10件、令和5年度補正予算7件、令和6年度当初予算7件など議案25件を審議、陳情1件を継続審議とし他は全員賛成または賛成多数で可決した。一般質問は3月12日と13日に9名が登壇し、村政全般について質問を行なった。

## 令和6年度一般会計予算について ～こんな意見があったけど～

自治体情報システム標準化・共通化業務委託料  
1億584万2千円  
総務省は、2025年までにシステムを移行するよう義務化している。  
現在のスケジュールで間に合うか？  
令和6年11月までに移行できる予定である。

大型資源プラスチック回収における、職員の負担が大きいに感じる。委託料を上げてでも職員の負担軽減を考えてみてはどうか。  
将来的には、システム化・マニュアル化を図り、通常の委託業務とするのが良いと思う。

保育園のバスを廃車の予定はあるか？  
将来的には廃車にしたいのが村の考えである。  
利用園児数が増えたらどうするのか？  
通園バスに代わる方法など、今後の課題として整理していきたい。(村長)

村づくり基本条例策定のタイムスケジュールは？  
村づくり基本条例策定委員会で協議し決定する。  
村づくりの策定は、2年や3年かかるか、それ以上かかるか、山形村の身の丈に合ったものをじっくりと真剣に考え、委員会に研究してもらいたいと考えている。(村長)

## 一般会計予算の討論

【賛成討論】 福澤 倫治議員  
本年は、山形村開村150年の年になります。その事業に充てる予算として、企画費に22,503千円。社会教育総務費のじゃんずら実行委員会に、例年の倍額4,000千円が計上されました。  
また、長年の懸案でありました複合施設建設費に、複合施設建設技術委託料2,000千円も計上されております。長部局の詳細な説明を聞き、私はこの予算に賛成するものであります。但し、一部の予算に対しては、予算執行時に改めて再度検討・研究されることを付け加えさせていただきます。

## 全員賛成で可決・承認された主な議案の審議結果

	議案内容	結果
議案第5号	山形村会計年度職員に関する条例の一部を改正する条例について	可決
	【質疑】 勤勉手当は、すべての会計年度任用職員に支給されるのか？	
	【回答】 対象は、フルタイムの会計年度任用職員と月額報酬のパートタイム会計年度任用職員	
議案第7号	山形村介護保険条例の一部を改正する条例について	可決
議案第13号	令和5年度山形村一般会計補正予算（第10号） ※歳入歳出それぞれに1千954万8千円を追加し、総額を41億7千614万1千円とするもの	可決
議案第14号	令和5年度山形村国民健康保険特別会計補正予算（第3号） ※歳入歳出それぞれに、4千868万3千円を追加し、総額を11億1千436万円とするもの	可決
議案第16号	令和5年度山形村介護保険特別会計補正予算（第5号） ※歳入歳出それぞれから、3千168万1千円を減額し、総額を7億2千45万2千円とするもの	可決

## 賛否が分かれた議案と討論があった議案の審査結果

議案第3号 山形村行政手続きにおける特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例について

【議案第3号の反対討論 大池俊子議員】  
この条例改正は、令和6年12月2日に健康保険証を廃止し、マイナ保険証に一本化するための改正である。マイナンバーカードは任意としながら、事実上は強制するものであり、マイナ保険証を持たない人には「資格確認書」を交付、高齢者施設等への対応として「暗証番号不要の顔認証カード」を発行するとしている。これらは、健康保険証を存続すれば不要であり、税金の無駄遣いと考えられ本条例改正は反対します。

議案第12号 山形村保健福祉センター施設の設備及び管理に関する条例の一部を改正する条例について

【議案第12号の反対討論 大池俊子議員】  
この条例改正は、いちいの里の入浴料金の値上げです。諸物価の高騰による経費上昇が財政を圧迫することは理解できますが、村民の福祉を考えると、入浴料の値上げをする本条例改正は反対します。

### 各議員の賛否

- 賛成
- × 反対

議員名		小出	竹野	百瀬	小林	福澤	春日	三澤	上條	大池	新居
件名・結果		敏裕	人恒夫	昇一	幸司	倫治	仁	一男	倫司	俊子	禎三
議案第3号	賛成多数	×	○	○	○	○	○	○	○	×	○
議案第7号	全員賛成	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第8号	賛成多数	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○

【議案第7号の賛成討論 大池俊子議員】  
この条例は、第5段階の介護保険料を5,700円から5,000円にするもので、年間8,400円と多額の値下げとなっている。松本市は、100円の値下げが大きなニュースとなった。多くの自治体が値上げする中で、値下げは大いに評価するものである。介護サービスが更に受けやすいものになればと願うこの条例は賛成する。

## その他の全員賛成で可決した議案

議案第2号（山形村道路線の認定）、条例の改正（議案第4号～第6号、議案第8号～第11号）、令和5年度補正予算（議案第15号、第17号～第19号）、令和6年度当初予算（議案第20号～第26号）

### 人事案件

同意第1号 山形村固定資産評価委員会委員の選任 平沢 隆一氏（中大池区）を選任する。  
諮問第1号 人権擁護委員候補者の推薦 山中 秀樹氏（下竹田区）を推薦する。

令和6年 第1回山形村議会臨時会  
(1月29日開催)

議案

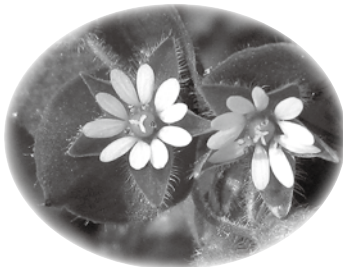
○令和5年度山形村一般会計補正予算（第9号）

歳入歳出それぞれに2千991万6千円を追加し、総額を41億5千659万3千円とするもの

補正予算の事業内容

民生費

○物価高騰対応重点支援給付金として、住民税所得割が非課税の世帯に世帯当たり10万円を給付する。そのうち、18歳以下の子がいる世帯には、子ども一人当たり5万円を加算給付する。



コハコベ

一般質問

議員9名が

村政を問う

一般質問は3月12・13日の両日、議員9名が登壇、村政全般について質問を行なった。本定例会から、より質の高い議論を目指し答弁書の送付と答弁方法を、次のように変更した。

- ① 答弁書は、一般質問の前日に配布する。
- ② 答弁内容によっては、担当課の長が答弁

席で答弁を行なう。  
議会で検証した結果、答弁書の事前配布は良好に受け入れられたが、答弁方法では、村長・教育長の答弁を希望し、課長答弁は時間に口スを生ずるため、自席での意見が大半であった。

「スカイランドきよみず」の今後の方向性は

村長 運営は、令和6年度中に方向付ける



竹野入恒夫 議員

行政改革の中で、村有財産（公の施設、普通財産の村有林など）

の再点検を行ない、財産処分も含め、有効な活用方法や、具体的な考え方及び内容を聞く。

**A** トレーニングセンター、ミラ・フード館、ふれあいの館、スカイランドきよみずなどの施設や、自由に処分ができる、普通財産の旧伝承館跡地、村民から寄付された宅地、村有林などの有効活用を検討する。

**Q** 今後のスカイランドきよみず運営は、どのように考えているか。指定管理者に年間2千万円かかる。この4年間で、今の指定管理者は利益が出ているか。5年目を指定

管理者が終えたときに、もう5年契約するのか。また、他に民間業者があるのか。耐久年数・耐震診断はできているのか。スカイランドきよみずの方向性は、銀行・公認会計士などを加えた協議組織を設け、検討を深めたらどうか。

**A** 現在の指定管理者が令和6年度で満了する。今後どうしていくかは、村の大きな課題。指定管理制度を続けるか、別の方策を考えるか、令和6年度中に方向付けをしたい。

その他、人口減少対策・子育て支援・防災対策・松枯れ対策について質問した。



スカイランドきよみず

## 地震災害への備えは十分か ライフラインの確保を重点に



新居 禎三 議員

**Q** 防災アドバイザーの配置計画があったが、その後の対応は。

**A** 令和4年度に実施する計画であったが、近隣町村では配置されていないので見送った経過がある。職員で防災士資格取得を進め対応したい。

**Q** 住宅の耐震改修工事に対する助成を行なっているが、近年利用が低調である。昭和56年以前の建築で、耐震改修未実施の家屋はどのくらいあるか。

**A** 改修未実施の家屋は839戸あり、住宅総数の約30%である。改修の必要性や助成制度を、広報・ホームページ・チラシなどで周知を図っている。

**Q** 道路に面したブロック塀や擁壁の点検、指導や助成は行なえないか。

**A** 住宅のブロック塀や擁壁は、それぞれが必要に応じて、点検や改修をしてもらうのが第一である。現時点では、助成や指導は予定していない。

**Q** 能登半島地震では、上下水道の復旧に時間を要した。当村の上下水道の耐震化対策の進捗状況は。

**A** 上水道管路は、令和元年より老朽化した管路の更新に合わせ、耐震化をしている。現在、耐震性の認められる管路は全体の

26%になる。清水簡易水道は、全体の12%が耐震化を認められる。下水道設備は、令和6年度浄化センター設備更新に合わせて、耐震化を行なう。

下水道路は、浄化センター更新工事完了後、設計策定して進める予定である。

その他、子どもの人権について質問した。



ウォーターパル (下水道処理施設)

## 農家の収入保険に補助金を 制度化に向け検討を行なう



小林 幸司 議員

**Q** 令和5年は様々な自然災害が発生し、農家も大変苦労してきた。長いもの品質低下やりんごの日焼けなど、収入減になった。こんな時だから収入保険に加入したいと考える農家も多いと思う。

松塩筑地域をみると、松本市では最大80%、塩尻市では50%の補助金が出されている。村

**A** でも補助してもらいたい。制度化に向けた検討を行なっている。農家の皆さんの後押しになるようなタイミングで、制度化できればと考えている。



被害りんご

**Q** 新規就農や規模拡大への補助金はあるが、農業維持や継続のため、農機具や施設などへの補助はできないか。

**A** 村単独事業での特産品に、的を絞った補助事業を創設するなど、個人ではなく産地全体に維持継続する観点であれば、何かできることもあるかと思う。

その他、能登半島地震を受けての村の防災や避難所運営の在り方について質問した。

**村長施政方針「チャレンジ」総合計画の取り組みは  
将来に向けて、村づくりに取り組み**



上 條 倫 司 議員

**Q** 空き家の確認は、地域おこし協力隊に協力してもらっているか。

**A** 令和5年度に村内空き家の実態を把握するため、空き家実態調査を行なった。専門業者への委託を行なったが、地域おこし協力隊も調査に参加した。調査結果から、空き家の可能性が高い114件が確認された。そのうち31件が管理不全空き家（直ぐに住めない空き家）の可能性が高い。地域おこし協力隊に相談等の対応を担ってもらっている。

**Q** 役場では、人材育成はどのように行なっているか。

**A** 職員研修は、職務遂行上の基礎的知識と経営感覚を備え、住民福祉の向上と地域振興に寄与する人材の育成を目指している。研修は、主に長野県の市長会と町村長会が共同で設置している、長野県市町村職員研修センターで、実施するメニューに沿って行なっている。

例としては、新規採用職員、4年から6年の一般の職員、10年から15年の中堅職員、係長・課長補佐・課長など、経験年数や職務に応じて研修を行なっている。  
また、自己研鑽型の研修では、メニューを職員へ提供し、希望する職員が自発的に研修

を受けることもある。  
例年、10人前後の職員がこの研修を受けている。



山形村空家対策計画

**健康ポイント制度を導入しては  
山形村らしく、効果の高いものを検討する**



百 瀬 昇 一 議員

**Q** 第6次山形村総合計画書の健康・福祉分野ビジョン、全体目標の令和4年度の実績は。

**A** 要介護認定を受け始める平均年齢は、81・5歳、国民健康保険の一人当たりの医療費は37万6千円、後期高齢者医療の一人当たりの医療費は72万7千円、介護保険事業費6億3千3百万円となっている。

**Q** 相変わらず、大きな医療費となっているが、今後の取り組みは。  
**A** 一人当たりの医療費の抑制を目指し、健康づくり事業や介護福祉事業の充実を進める。

**Q** 第6次山形村総合計画書の健康・福祉分野のビジョン、ミッションA重点目標の4点の令和4年度の実績は。  
**A** 特定健診受診率は37・3%、特定保健指導実施率は71・2%、乳幼児健診受診率は96・3%、広報の地域の健康課題に関する記事数は13件となっている。

**Q** 令和6年度より、長い歴史のある成人検診の集団健診（健康スクリーニング）の日程が変わるが、他の変更はあるか。  
**A** 令和6年度は、10月4日、11月7日、12月5日に実施予定である。健診内容の改善なども検討する。



保健福祉センター

## 子どもの視力低下を考える

教員 利活用ルールを共有し、学校と家庭で連携を図る



小出敏裕 議員

**Q** 令和2年度から令和4年度における、裸眼視力1.0未満の児童数は。

**A** 令和2年度126人、令和3年度115人、令和4年度は115人である。

**Q** 学校で屋外授業を増やし、目を守る対策を取り入れる予定はあるか。

**A** 野外活動は、教育課程を編成する中で、教科領域の目標達成のために位置づけられている。特に目を守る対策としては行なっていないが、健全な身体育成のために野外活動を展開している。

**Q** 学校における視力低下予防の対応・対策は。

**A** タブレット端末の利活用には、教職員間にも問題意識があり、12月に「情報リテラシー教育全体計画」を協議し策定した。その中に、健康面でのルールを定め、児童や保護者に提示している。

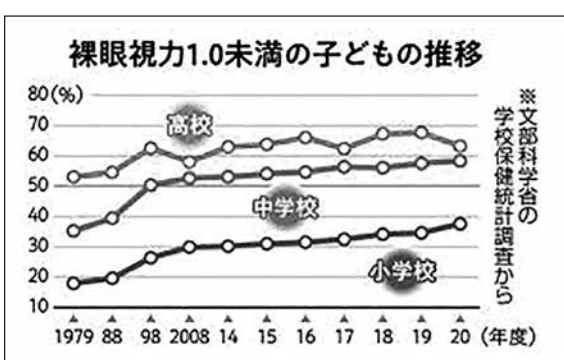
**Q** 子どもの視力低下について、家庭との連携は。

**A** 学校検診の結果をもとに、養護教員が「ほけんだより」で、分析と対策について啓発している。最近では、「眼軸近視」について、理解と注意を促している。

**Q** 全国学力・学習状況調査において、山形小学校では使用時間などに課題がなかったか。

**A** 全国の状況と顕著な有意差はみられない。

その他、道路を安全に通るためについて質問した。



視力低下問題

## 「村づくり基本条例」策定の目的は

村長 協働の村づくりのため



春日 仁 議員

**Q** 村づくり基本条例策定の背景は何か。

**A** 現状は、混住化が進み、地域コミュニティが、これまでのような機能が迎えている。「基本条例」は、多くの村民が共感でき、これからの村づくりの基礎となる指針を、村民自ら主体的に作成し、村民力を高めることが、協働の村づくりには必要条件である。

**Q** 条例策定委員会の構成と策定期間は。

**A** 12名の委員で「村づくり基本条例策定委員会」を組織する予定である。完全な条例案の策定は、短時間では困難だと思おう。来年度は、条例の基本となる事項だけでも整備したい。

**Q** 条例の村民・議会・行政に期待することは。

**A** 残念ながら当村においても、いわゆるお任せ民主主義・客観民主主義といわれる、政治には無関心で困りごとは行政の責任とする傾向にあり、自助・共助の力が急激に低下している。そのため、「村づくり」に一役を担うことに生き甲斐を感じる村民を、ひとりでも増やすことである。



長いもの収穫

## 施政方針 人口減対策は 重点施策を推進していく



三澤 一男 議員

子ども家庭庁が、令和5年「子ども基本法」を施行し、それに基つき村は「子ども計画」を策定し、子育て支援を体系的に進めるとあるが、いつまでに示されるか。

**A** 「子ども計画」は、令和6年度末までに策定する。

**Q** この法律は、幅広く児童の権利から結婚・妊娠・出産・子育てに、夢や希望を感じられる社会の実現・少子化の克服その他、児童虐待防止・貧困対策を含めている。現在の体制では、人的にも財政的にも、負担が大きいと思うが考えは。

**A** 子ども基本法にうたわれている、子育て施策は幅広く、現在の体制では困難な部分があるのも確かだ。国の子育て支援関係の補助金等も活用し、必要な職種や人員確保をし、子育て支援策を推進していく。

**Q** 土地利用計画を見直し、地域未来促進法により官民連携で進める企業誘致（山形村南野尻産業団地開発事業）の進捗状況は。

**A** 令和5年12月、サンリン(株)、サンエネック(株)、(株)ディーネクストと3社協定を行ない、誘致する企業の調整を行なっている。地権者への説明は、3月開催を進め準備して

いる。

その他、空き家・空き地の有効利用、県道新田松本線の歩道設置等について質問した。



子ども第三の居場所セミナー

## 認可保育園への独自の補助制度は 財政状況を見ながら検討したい



大池 俊子 議員

**Q** 村には、村立山形保育園とやまのこ保育園があるが、ともに園児数が減少している。やまのこ保育園が、認可保育園となった経緯は。

**A** やまのこ保育園は、平成13年山形村で民家を借り開園し、3年後新園舎が完成し、その後転入や出生で人口も増え続く中、平成24年、私立のやまのこ認可保育園となった。

**Q** やまのこ保育園は、60人定員のところ、在園児数40人、山形保育園も280人のところ

ろ240人となっているが、定員数の見直しの考えは。

**A** 少子・高齢化や人口減少の時代を考えると、各園のバランスや状況を考えながら見直しも必要となってくる。子ども計画策定に向け、子ども子育て会議で検討をする。

**Q** やまのこ保育園は、園児数減少で経営的にも厳しい状況にある。松本市には『私立保育所等経営安定費補助制度』があるが、村でも独自の補助制度はできないか。

**A** やまのこ保育園に対しては、国や県からの補助金を活用し、村も一部負担している。独自の補助等については、財政状況を見ながら検討したい。



やまのこ保育園

その他、山形保育園の安全の確保、募金の収集方法変更の検証について質問した。



# 議会改革への第1歩 ～タブレット端末の導入～

令和6年度一般会計予算に、議会改革推進検討特別委員会が切望していたタブレット端末が盛り込まれ可決された。山形村議会は令和4年議会改革に着手、ゆっくりと歩を進め、その第1歩としてタブレット端末導入を検討してきた。去年は、常任委員会合同で先進議会の視察を行ない、タブレット端末導入の必要性を再認識した。

タブレット導入の主なメリットは

- ①ペーパーレス化による経費節約効果
- ②議会運営・議員活動の効率化効果
- ③議会の見える化の促進など住民への効果

などがある一方、使用者のスキル向上、会議規則や申し合わせ事項の改正、タブレット使用基準の策定などが課題として残る。

今後のタイムスケジュールは、研修を行ない6月定例会で試行的に使用したい。

当面は、紙ベースと併用になる。

(小出 敏裕)

タブレット端末の電子書棚(イメージ)



## 第3回議会モニター会議開催

前回、貴重で有意義な意見をモニター各位からいただいたが、消化不良の面が多々あり、意見や提言を十分に生かし切れていないのが実情です。内容は議会と議員で精査・共有し、今後の議会運営並びに議会活動の糧にしたいと考えます。

第3回議会モニター会議を、全議員と3名のモニター（1名は都合が悪く欠席）、議会事務局職員が出席し1月10日に開催しました。

新たにモニターに名乗りを上げた方がおられ、現在は5名になったことを報告します。しかし、議会モニターの定数は15名ですので、引き続き募集をしております。ぜひ応募くださいますようお願い（本誌2ページをご覧ください）します。

なお、第4回議会モニター会議を4月8日に予定しています。

会議要旨の一部を抜粋し、議会モニター会議報告とします。

- 同じ内容の質問が多いように感じました。事前にすりあわせて調整できないものか。
- 私の意見を代弁してもらえると有り難いがどうでしょう。
- 議員の名刺にメールアドレスがあると、若い人はいろいろ言いやすいと思う。
- 傍聴には、何人くらいの方が来るのか。
- 役場の窓口対応に問題がある。
- 公式LINEを活用していない。村民の意見を集約する必要があるのではないか。
- 県議会議員と村議会議員が協働して事に当たれないか。
- 空き家などの倒壊が心配。地震など自然災害対策を。

最後に、新しいモニターさんを紹介します。

やんちゃKids 東筑山形管理者 村林 淳一郎 さん



モニターの皆さん



出席議員

25	21	14	13	12	8	7	6	5	4	26	22	20	14	7	29	23	19	12	10	8	5				
日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日				
議会全員協議会	議会広報編集特別委員会	第22回議会改革推進検討特別委員会	議会全員協議会	令和6年第1回山形村議会定例会閉会	一般質問	一般質問	福社文教常任委員会	総務産業常任委員会	議会全員協議会(予算説明2日目)	議会全員協議会(予算説明1日目)	議会運営委員会	議会運営委員会	福社文教常任委員会	2月定例会	松本市・山形村・朝日村中学校組合議会	議会全員協議会	令和6年第1回山形村議会臨時会	第20回議会改革推進検討特別委員会	議会運営委員会	洞遺跡発掘物について	第18回長野県地方自治政策課題	議会合同常任委員会			
									令和6年第1回山形村議会定例会開会	議会運営委員会	総務産業常任委員会	第21回議会改革推進検討特別委員会	福社文教常任委員会		第20回議会改革推進検討特別委員会	議会合同常任委員会	第18回長野県地方自治政策課題	洞遺跡発掘物について	第18回長野県地方自治政策課題	議会合同常任委員会	第3回議会モニター会議	議会広報編集特別委員会	議会全員協議会	山形村役職員新年会	消防団出初め式

議会日誌

# 私の一言

「地域おこし協力隊」という言葉をどう存じでしょうか？

村田 千春さん（地域おこし協力隊）



「地域おこし協力隊」とは、地域に移住し課題解決や活性化を図るため、様々な活動を行なう取り組みです。

私が、この存在を知ったのは2年ほど前の事でした。いつからか「古き良き」というものが好きで、古民家や昔ながらの手仕事、田舎ならではの景色や風習に心地よさや安心感、安らぎを感じていました。身の回りのものがどんどん新しくなる中、「古き良き」を残していくため、地域おこしや地方創生に関わる活動をしたと思うようになりました。

2月から、地元である山形村で地域おこし協力隊として着任し、観光振興を担当し、「山形村の良さ」を活かして、何ができるのかを模索しています。今は、先輩方と一緒に稲作・農作物験を企画しています。自然と関わる体験が不足している現在、あまり体験できない農作業を通して、食育や地産地消、観光、農業啓発などにつなげたいと考えています。

この2ヶ月、村民の方と関わって感じたことは、「地域おこし協力隊」が知られていないことです。今後は、村民の皆様と関わりを持ち、一緒に「山形村の良さ」を残していくことが課題だと感じています。

# 初めて議会を傍聴して

村林 淳一朗さん（上大池）



先日、議会モニターに登録して、新鮮な思いで早速傍聴いたしました。

3月議会の期間は、忙しいときに重なってしまったため、2回ほどしか傍聴できなかったことが大変残念でした。本会議は後ほどホームページより見させていたいただきました。

議会の審議以前に、そもそも予算案を作るのが大変だったろうな...と感じました。議員も真剣に調査して質問し、答弁する側も村を良くしていこうという思いを多く感じました。

ところで、村のホームページから本会議の映像は見られますが、委員会や全員協議会の映像はありません。本会議はいちばん重要ですが、予算や容量の問題もありますが、全員協議会で提案する側の趣旨が触れられていますし、委員会審議も重要と思いますので、こちらも見られるようにしておくのがベターかとも思いました。

議員の皆さんが真剣に考え議論し、議案を提出し答弁する役場の方々も、村を良くしていこうという思いが伝わってきました。

私も、微力ながらお役に立てれば...と思います。



白花ホトケノザ

# 旬の味

東日本大震災から13年、能登半島地震から3ヶ月が経つ。家は崩れたまま、道路も崩れひび割れてデコボコ、各地で土砂が崩れ、平地の少ない能登半島では、仮設住宅の用地確保もままならず、復旧・復興の先は見えない。

山形村から「チームながの」の一員として、被災地支援に携わった職員が、地域サロンや小学校に向き体験を報告し、村の防災計画や避難所の実態を話してくれた。山形村は、地震や災害があまり起きない、そんな思いも頭の片隅にある。これを「正常性バイアス」というらしい。また、物理学者の寺田寅吉は「天災（災害）は忘れた頃にやってくる」と言っていたし、中国には「備えあれば憂いなし」という古事成語もある。

目を転じ、山形村の防災意識はどうか。能登半島地震を自分事と受け止め、3日分の飲料水の確保や非常食の確保、避難所の実態などを再確認し、災いに備えるべきと考える。（大池 俊子）



能登半島地震 道路崩壊

# 発行責任者

議長 大月 民夫  
副委員長 小出 敏裕  
委員 大池 俊子  
委員 竹野入恒夫  
委員 百瀬 昇一  
委員 三澤 一男

# 議会広報編集特別委員会



委員 大月 民夫  
委員 小出 敏裕  
委員 大池 俊子  
委員 竹野入恒夫  
委員 百瀬 昇一  
委員 三澤 一男